

◆エイジフレンドリーについて



*エイジフレンドリーとは「高齢者の特性を考慮した」を意味することばで、WHO や欧米の労働衛生機関で使用されています。

働く高齢者の特性に配慮した みんなにやさしい職場作りを目指しましょう！



背景・現状

- ・ 60 歳以上の雇用者数は過去 10 年で 1.5 倍に増加
- ・ 商業・保健衛生業等の第 3 次産業にて増加



<高齢労働者の労働災害の増加>

- ・ 60 才以上の労働者が占める割合 ↑ (2018 年約 26%)
- ・ 転倒災害、墜落・転落災害の発生率が高い ・ 女性に多い

<労働災害分析>

図3 年齢別発生状況の推移

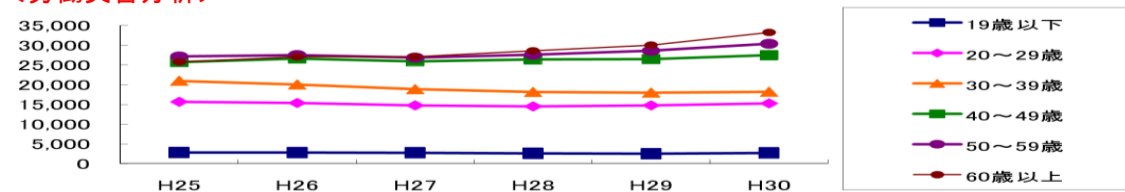
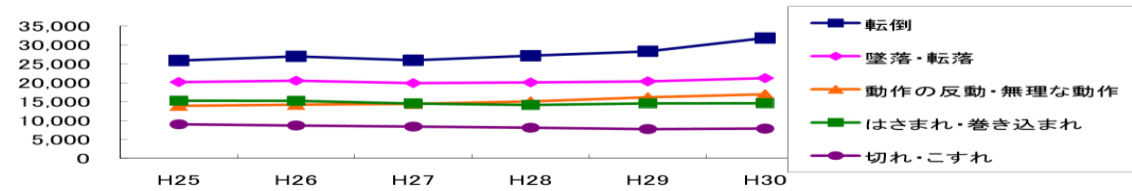


図4 事故の型別発生状況の推移



中災防：平成 30 年労働災害分析データより

高齢者は身体機能が低下すること等により、若年者と比較すると労働災害の発生率が高く、休業も長期化しやすい。すべての労働者が安心して安全に働ける職場環境作りが重要！

求められる取組

●事業者 高齢労働者の就業状況や業務の内容等の実情に応じて、実施可能な労働災害防止対策に積極的に取り組むように努める。

1. 安全衛生管理体制の確立等
2. 職場環境の改善
3. 高齢労働者の健康や体力の状況把握
4. 高齢労働者の健康や体力の状況に応じた対応
5. 安全衛生教育

2. 職場環境の改善 例

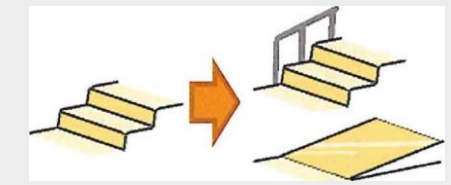
・ 高齢者でも安全に働き続けることができるよう、施設、設備、装置等の改善を検討し必要な対策を講じます。



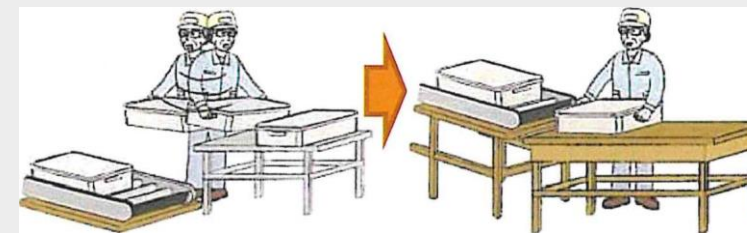
★油分や水分を放置せず すぐにふき取る



★作業場所の照度を確保



★階段には手すりをつけ 段差の解消



★不自然な作業姿勢をなくすよう作業台の高さや作業対象物の配置を改善する



★解消できない危険箇所に標識等で注意喚起



★ゆとりある作業スピード、無理のない作業姿勢等に配慮したマニュアルの見直し



★交替制勤務、短時間勤務等勤務時間の工夫や配慮

●労働者 自己の健康を守るための努力の重要性を理解し、自らの健康づくりに積極的に取り組むように努める。

★自らの身体機能や健康状況を把握し、健康や体力の維持管理に努める

★日頃から運動を取り入れ、食習慣の改善等により体力の維持と生活習慣の改善に取り組む

※エイジフレンドリー補助金の申請精度があります。詳しくは[エイジフレンドリーにて検索](#)

